

リストNo	02-002	施設コード	00596			
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舍等					
施設名	水巻寮教職員住宅					
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町中部437-2					
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之			
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治			
設置根拠(法)	—					
条例	—					
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	495.18	土地面積	2,249.85		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	2,249.85	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2023/8/21				
	経過年数(主要建物)	0				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	198	216	184
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	198	216	184
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	598	642	391
	維持補修費(修繕費)	0	263	8
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地利)	0	0	0
	支出計(B)	598	905	399
	行政コスト(B-A)	400	689	215
	収支前年比	58.06	320.47	29.05
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	2,045	2,045	2,045
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	10	10	9
	全戸数	22	24	24
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	21,824	25,218	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
	2015	食堂改修工事	13,436			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	0.1
02-016	中部医師住宅	地域	0.1
02-012	平沢医療職員等住宅	地域	0.1
02-017	平沢医師住宅	地域	0.3
02-007	半場教職員住宅	地域	0.8
02-006	川合教職員住宅	地域	1.2
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	0.1
13-087	平沢団地	地域	0.2
14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	0.2
15-145	佐久間中学校	生活	0.2
22-011	中部歯科診療所	生活	0.2
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.3
01-027	佐久間協働センター	地域	0.3
21-006	佐久間・水窪斎場	地域	0.4



基本情報	リストNo	02-002	施設コード	00596	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	水巻寮教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される			
	特記事項			1棟24室共同住宅(現在10室利用)			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業②		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2022	—	—	—	
事業③		—	2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
			2020	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	—					
	対応策	—					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	808	1,391	434	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	45.5	41.7	37.5	1戸当たりのコスト(円)	40,000	68,900	23,889
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸） 前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
当面適切な維持管理に努める。								

リストNo	02-004	施設コード	01468			
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舍等					
施設名	神原下教職員住宅					
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家2752-1					
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之			
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治			
設置根拠(法)	—					
条例	—					
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	198.72	土地面積	629.79		
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	629.79	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1990/3/31				
	経過年数(主要建物)	33				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	144	144	144
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	144	144	144
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	139	76	22
	維持補修費(修繕費)	176	171	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	315	247	22
行政コスト(B-A)		171	103	-122
収支前年比		166.02	-84.43	-38.61
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	4	4	4
	全戸数	4	4	4
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	02-005	神原上教職員住宅	地域	0.1		
	02-010	神原市有住宅	地域	0.1		
	02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域	1.4		
	14-143	水窪第1分団第3部大里詰所ほか3施設	コミュニティ	0.1		
	15-095	水窪小学校	生活	0.1		
	10-018	水窪高齢者交流センター	地域	0.1		
	25-021	旧簡易水道新道	—	0.2		
	14-142	水窪第1分団第1部本町詰所	コミュニティ	0.3		
	13-076	水窪団地	地域	0.4		
01-028	水窪協働センター	地域	0.5			
04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.5			
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	02-004	施設コード	01468	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	神原下教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される			
	特記事項			4棟住宅(3棟利用)			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年近く経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は存続の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
民活導入	代替サービス	—	—	—	—		
	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
広域化	—	—	—	—			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	861	518	-614	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	100.0	100.0	100.0	1戸当たりのコスト(円)	42,750	25,750	-30,500
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
								
<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>								
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。</p>						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
<p>神原下教職員住宅は詳細調査を実施した上で整備方針(改修範囲)を決定し、順次改善を図っていく。</p>								

リストNo	02-005	施設コード	01471			
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舍等					
施設名	神原上教職員住宅					
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家2825-1					
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之			
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治			
設置根拠(法)	—					
条例	—					
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	148.50	土地面積	433.05		
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	433.05
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1964/3/31				
	経過年数(主要建物)	59				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	48	48	24
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	48	48	24
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	59	61	25
	維持補修費(修繕費)	0	286	40
	物件費(光熱水費)	4	3	3
	物件費(借地料)	124	124	124
支出計(B)	187	474	192	
行政コスト(B-A)		139	426	168
収支前年比		32.63	253.57	525.00
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	2	2	2
	全戸数	3	3	3
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	5,616	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)	
近隣施設							
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)			
	02-004	神原下教職員住宅	地域	0.1			
	02-010	神原市有住宅	地域	0.1			
	02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域	1.4			
その他の分類	14-143	水窪第1分団第3部大里詰所ほか3施設	コミュニティ	0.1			
	15-095	水窪小学校	生活	0.2			
	25-021	旧簡易水道新道	—	0.2			
	10-018	水窪高齢者交流センター	地域	0.2			
	14-142	水窪第1分団第1部本町詰所	コミュニティ	0.4			
	13-076	水窪団地	地域	0.4			
	01-028	水窪協働センター	地域	0.5			
	04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.6			
	施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	02-005	施設コード	01471	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	神原上教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される			
	特記事項			3棟住宅(現在2棟利用)			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
	施設に関する課題等(ハード面から)						
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築50年以上経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。また、敷地が借地のため解消が必要である。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は廃止の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	○	—	借地の解消を検討していく。			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	936	2,869	1,131	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	66.7	66.7	66.7	1戸当たりのコスト(円)	69,500	213,000	84,000
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>利用者の圏域毎の方向性</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>							
	<p>個別方針</p> <p>現在は入居者がいるため運営は続けるが、退去後入居者不在が続いた場合は施設を解体する。</p>							
個別方針	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—

リストNo	02-006	施設コード	01656	
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等			
施設名	川合教職員住宅			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町川合685-1			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之	
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。			
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	82.81	土地面積 455.98	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1969/12/1		
	経過年数(主要建物)	53		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	37	37
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	37	37
	支出(千円)	人件費	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	19	81	63
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	19	81	63
行政コスト(B-A)		19	44	26
収支前年比		43.18	169.23	236.36
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	1	2
	全戸数	2	2	2
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	2,383	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	1.2
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	1.2
02-017	平沢医師住宅	地域	1.2
02-012	平沢医療職員等住宅	地域	1.3
02-016	中部医師住宅	地域	1.3
02-007	半場教職員住宅	地域	2.0
14-132	佐久間第1分団川合	コミュニティ	0.1
25-026	旧佐久間簡易水道	—	0.3
15-145	佐久間中学校	生活	1.0
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	1.3
13-087	平沢団地	地域	1.3
14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	1.4
22-011	中部歯科診療所	生活	1.4
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	1.5



基本情報	リストNo	02-006	施設コード	01656	所管課	本庁	学校教育部教育施設課	
	施設名	川合教職員住宅			施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。						
		主な業務内容	教職員の住居					
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 中学校の統合、小学校の学級数の減などにより需要が減少している							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も少ない需要で推移していくことが予想される							
	特記事項 1棟2戸住宅(現在利用無)							
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
2020			—	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築50年以上経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加が予想される。						
	対応策	令和2年度浜松市教職員住宅配置適正化計画において「廃止」の方針となり、令和5年度解体予定。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	229	531	314	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	0.0	50.0	100.0	1戸当たりのコスト(円)	—	44,000	13,000	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性								
		<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>利用状況等による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	統廃合	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
現在入居者は無く、令和5年度解体予定。									

リストNo	02-007	施設コード	02272
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等		
施設名	半場教職員住宅		
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町半場137-3		
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域	
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治
設置根拠(法)	—		
条例	—		
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。		
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	231.86	土地面積 994.90
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	2	
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	—	
	建築年月日(主要建物)	1987/3/1	
	経過年数(主要建物)	36	
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	70	104	104
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	70	104	104
	支出(千円)	人件費	0	0
支出(千円)	物件費(委託料)	92	162	252
	維持補修費(修繕費)	366	142	99
	物件費(光熱水費)	4	4	3
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	462	308	354
行政コスト(B-A)	392	204	250	
収支前年比	192.16	81.60	44.72	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	2	3	3
	全戸数	4	4	4
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	4,963	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

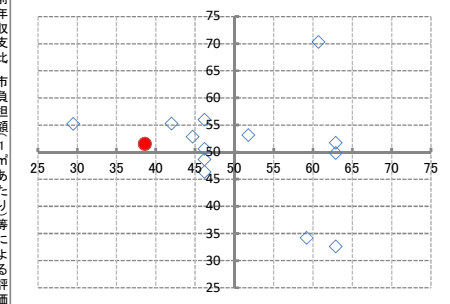
近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-016	中部医師住宅	地域	0.7
02-012	平沢医療職員等住宅	地域	0.7
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	0.8
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	0.8
02-017	平沢医師住宅	地域	0.9
02-006	川合教職員住宅	地域	2.0
13-086	半場団地	地域	0.2
08-080	佐久間幼稚園	生活	0.2
15-092	佐久間小学校	生活	0.2
26-024	佐久間浄化センター	—	0.4
14-028	天竜消防署佐久間出張所	地域	0.4
01-027	佐久間協働センター	地域	0.5
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.5
22-011	中部歯科診療所	生活	0.6



基本情報	リストNo	02-007	施設コード	02272	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	半場教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される			
	特記事項						
	1棟4戸住宅(現在3戸利用)						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年以上経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は存続の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,691	880	1,078	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	50.0	75.0	75.0	1戸当たりのコスト(円)	196,000	68,000	83,333
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>		 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。		
		<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>		<p>教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。</p>				
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
半場教職員住宅は詳細調査を実施した上で整備方針(改修範囲)を決定し、順次改善を図っていく。								

基本情報	リストNo	02-008	施設コード	02694	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	龍山明窓寮教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		小中学校の統廃合により利用者が激減している				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		教職員の利用者は無くなると思われる				
	特記事項		1棟11戸住宅(現在山いき隊2名利用)				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年以上が経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。また、現在教職員の利用者がいないため、今後において教職員住宅として管理することが妥当か検討する必要がある。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は廃止の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	○	—	—	今後の利用者の状況により検討する。	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	○	—	—	今後の利用者の状況により検討する。	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	505	347	516	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	27.3	27.3	27.3	1戸当たりのコスト(円)	74,667	51,333	76,333	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	—	
		2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
現在は入居者がいるため運営は続けるが、退去後入居者不在が続いた場合は施設を解体する。									

リストNo	02-009	施設コード	02783	
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等			
施設名	水窪単身寮教職員住宅			
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家3716-3			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設	
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之	
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。			
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	231.86	土地面積 2,838.00	
	構造(主要建物)	鉄骨造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	2000/2/16		
	経過年数(主要建物)	23		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



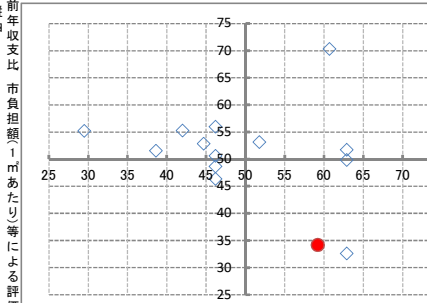
項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	259	247
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	259	247
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	110	150	152
	維持補修費(修繕費)	1,079	655	59
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,189	805	211
行政コスト(B-A)		1,189	546	-36
収支前年比		217.77	-1516.67	-7.26
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		1,577	1,577	1,577
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	8	9	9
	全戸数	9	9	9
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	25,303	32,076	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-010	神原市有住宅	地域	1.3
02-005	神原上教職員住宅	地域	1.4
02-004	神原下教職員住宅	地域	1.4
同分類			
その他の分類			
13-070	つつじヶ丘団地	地域	0.1
13-082	大原団地	地域	0.1
14-027	天竜消防署水窪出張所	地域	0.2
05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ	0.3
25-042	尾呂第2配水場	—	0.4
14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ	0.5
05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等	0.5
14-146	水窪第2分団第5部電戸詰所	コミュニティ	0.8



基本情報	リストNo	02-009	施設コード	02783	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	水窪単身寮教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される			
	特記事項			1棟9戸住宅(現在全て利用)			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業②		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業③		—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	比較的新しい建物ではあるが、今後、施設の老朽化に伴い、維持管理経費の増加が予想される。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は存続の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	5,128	2,355	-155	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	88.9	100.0	100.0	1戸当たりのコスト(円)	148,625	60,667	-4,000	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>				<p>教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。</p>			
		1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	—	
2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—		
水窪単身寮教職員住宅は詳細調査を実施した上で整備方針(改修範囲)を決定し、順次改善を図っていく。									

リストNo	02-010	施設コード	01470		
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等				
施設名	神原市有住宅				
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家2766-1				
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域			
財産区分	普通財産	普通財産	その他		
所管課	本庁	-	課長名 -		
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治		
設置根拠(法)	-				
条例	-				
設置目的	民間賃貸借住宅がほとんど無い水窪地域では、人事異動により同地域に勤務となった者の住居確保が非常に厳しい状況であり、同地域にとっては必要不可欠な住居施設であり、今後も存続していかねばならない。				
主な利用者	同地域勤務者				
運営形態	直営				
指定管理または包括管理委託等の期間	~				
管理者名	-				
開館時間	-				
建物情報	総延床面積	316.76	土地面積	673.81	
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	118.90
	地上階数(主要建物)	2			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積	554.91
	建築年月日(主要建物)	1994/3/15			
	経過年数(主要建物)	29			
用途地域	都市計画区域外				
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
財源	設置事業費	-	-	-	
	国・県	-	-	-	
	寄付金	-	-	-	
	その他	-	-	-	
	市債	-	-	-	
	一般財源	-	-	-	
特記事項	LPガス供給管修繕工事を緊急的に実施				



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	294	231	270
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	294	231	270
支出(千円)	人件費	0	0	3,600
	物件費(委託料)	55	103	106
	維持補修費(修繕費)	494	0	908
	物件費(光熱水費)	38	30	35
	物件費(借地料)	159	159	159
	支出計(B)	746	292	4,808
行政コスト(B-A)		452	61	4,538
収支前年比		740.98	1.34	-7824.14
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	9	8	7
	利用可能コマ数/年	9	9	9
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	9	8	9
	全戸数	9	9	9
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	1,061	0	-	

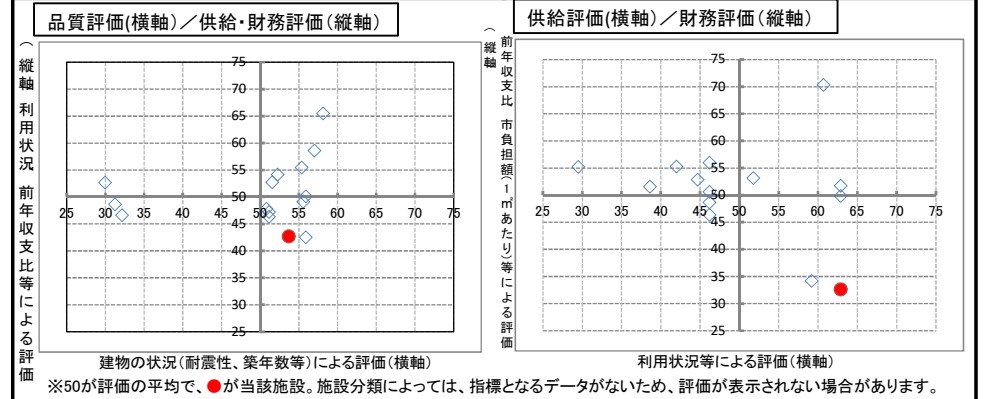
年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	塗装修繕工事	793			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-005	神原上教職員住宅	地域	0.1
02-004	神原下教職員住宅	地域	0.1
02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域	1.3
25-021	旧簡易水道新道	-	0.2
14-143	水窪第1分団第3部大里詰所ほか3施設	コミュニティ	0.2
15-095	水窪小学校	生活	0.2
10-018	水窪高齢者交流センター	地域	0.3
01-028	水窪協働センター	地域	0.4
04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.5
14-142	水窪第1分団第1部本町詰所	コミュニティ	0.5
03-018	水窪文化会館	地域	0.5



基本情報	リストNo	02-010	施設コード	01470	所管課	本庁	-	
	施設名	神原市有住宅			施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-	
複合施設								
関連政策名 職員の健康管理と職場環境の安全管理								
設置の妥当性	設置目的(再掲)							
	民間賃貸借住宅がほとんど無い水窪地域では、人事異動により同地域に勤務となった者の住居確保が非常に厳しい状況であり、同地域にとっては必要不可欠な住居施設であり、今後も存続していかなければならない。							
	主な業務内容	賃貸住宅						
	主な利用者	同地域勤務者						
	設置目的の継続性・妥当性							
施設運営分析	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		当地域への勤務職員が居住する施設であり需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		通勤困難の職員等が利用する住宅であり今後も利用が見込まれる。					
	特記事項		1棟9戸住宅(現在9戸利用)					
	事業名・開催回数(2022)			年度	事業費(千円)	実施状況		
	主な事業	事業①	2022		-	-	-	
2021			-	-	-			
2020			-	-	-			
事業②			2022		-	-	-	
	2021		-	-	-			
	2020		-	-	-			
事業③	2022		-	-	-			
	2021		-	-	-			
	2020		-	-	-			
事業④	2022		-	-	-			
	2021		-	-	-			
	2020		-	-	-			
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化に伴い修繕が必要な箇所は、外観及び各居室において年々増加している。						
	対応策	施設の劣化状況を見定め、それに応じた修繕等が必要となることから、適正な維持管理コストを心がけ、よりよい運営に取り組む。						
	資産の見直し	方向性	~5年	~10年	~30年	備考欄		
		廃止	-	-	-	-		
		民間移管	-	-	-	-		
管理主体変更		-	-	-	-			
代替サービス		-	-	-	-			
民生活導入	統廃合	-	-	-	-			
	複合化	-	-	-	-			
	広域化	-	-	-	-			

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	1,427	193	14,326	1人当たりのコスト(円)	-	-	-
	施設利用率(%)	100.0	88.9	77.8	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-
	入居率(%)	100.0	88.9	100.0	1戸当たりのコスト(円)	50,222	7,625	504,222



参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	-	-	-	-	
	2民生活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-	
老朽化の課題もあることから、利用の実態と教職員の通勤圏域、周辺の民間施設の有無などの状況を見極めつつ、水窪地区の3つの教職員住宅(神原下、神原上、水窪単身寮)及び龍山地区の龍山明窓寮教職員住宅との統廃合を検討する。								

リストNo	02-011	施設コード	00844			
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等					
施設名	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)					
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町中部472					
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域				
財産区分	普通財産	普通財産	職員宿舎			
所管課	本庁	-	課長名			
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治			
設置根拠(法)	-					
条例	-					
設置目的	佐久間医療関係に勤務する職員にとって必要不可欠な施設であるため、今後も適正な維持管理コストを心掛け、より良い運営に取り組む。					
主な利用者	佐久間病院職員及び社会福祉法人さくまの職員					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	~					
管理者名	-					
開館時間	-					
建物情報	総延床面積	472.57	土地面積	2,183.45		
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00	
	地上階数(主要建物)	3			うち借地面積	2,183.45
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		代表地目(現況地目)		
	耐震工事(主要建物)	-				
	建築年月日(主要建物)	2005/6/20				
	経過年数(主要建物)	17				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	-	-	-		
	国・県	-	-	-		
	寄付金	-	-	-		
	その他	-	-	-		
	市債	-	-	-		
一般財源	-	-	-			
特記事項	-					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	2,034	1,258	1,565
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	2,034	1,258	1,565
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	114	188	1,122
	維持補修費(修繕費)	262	565	297
	物件費(光熱水費)	65	52	52
	物件費(借地料)	524	524	524
	支出計(B)	965	1,329	1,995
行政コスト(B-A)		-1,069	71	430
収支前年比		-1505.63	16.51	-34.02
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		2,347	2,347	2,347
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	14	7	5
	全戸数	15	15	15
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	66,781	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	02-002	水巻寮教職員住宅	地域	0.1		
	02-012	平沢医療職員等住宅	地域	0.1		
	02-017	平沢医師住宅	地域	0.2		
	02-016	中部医師住宅	地域	0.2		
	02-007	半場教職員住宅	地域	0.8		
	02-006	川合教職員住宅	地域	1.2		
その他の分類	14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	0.1		
	13-087	平沢団地	地域	0.2		
	15-145	佐久間中学校	生活	0.2		
	14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	0.3		
	22-011	中部歯科診療所	生活	0.3		
	21-006	佐久間・水窪斎場	地域	0.4		
	22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.4		
	01-027	佐久間協働センター	地域	0.4		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	02-011	施設コード	00844	所管課	本庁	-	
	施設名	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)			施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-	
	複合施設	-						
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		佐久間医療関係に勤務する職員にとって必要不可欠な施設であるため、今後も適正な維持管理コストを心掛け、より良い運営に取り組む。						
		主な業務内容	賃貸住宅					
		主な利用者	佐久間病院職員及び社会福祉法人さくまの職員					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			居住者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			佐久間地域医療に関わる職員等の利用が見込まれる。				
	特記事項			平成17年新築				
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		-	2022	-	のべ募集人員	参加者数	-	
		-	2021	-	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	-	
事業②		-	2022	-	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	-	
事業③		-	2022	-	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	-	
事業④	-	2022	-	-	-	-		
	-	2021	-	-	-	-		
	-	2020	-	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化に伴い修繕が必要な箇所は、外観及び各居室において年々増加している。						
	対応策	施設の劣化状況を見定め、それに応じた修繕等が必要となることから、適正な維持管理コストを心がけ、よりよい運営に取り組む。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	-	-	-	-		
		民間移管	-	-	-	-		
		管理主体変更	-	-	-	-		
		代替サービス	-	-	-	-		
統廃合	-	-	-	-				
複合化	-	-	-	-				
広域化	-	-	-	-				
民生活導入	-							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-2,262	150	910	1人当たりのコスト(円)	-	-	-
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-
	入居率(%)	93.3	46.7	33.3	1戸当たりのコスト(円)	-76,357	10,143	86,000
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
参考	<p>縦軸利用状況 前年収支比率等による評価</p> <p>縦軸 前年収支比率 市負担額1㎡あたり等による評価</p> <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>利用状況等による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>							
	利用者	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
公共施設等総合管理計画より抜粋	<p>利用用途別分類毎の方向性</p> <p>教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。</p>							
個別方針	1資産の見直し	代替サービス	-	-	-	-	-	
	2民生活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-	
	地域医療確保の観点から、適切な維持管理に努める。							

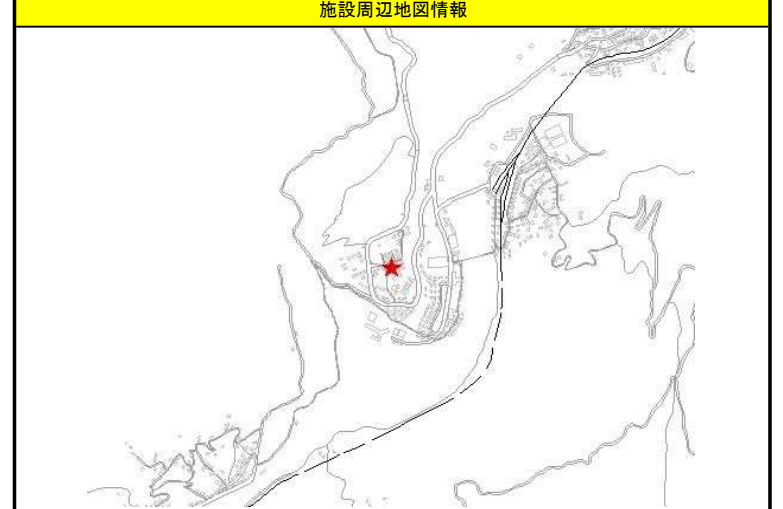
リストNo	02-012	施設コード	02496	
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等			
施設名	平沢医療職員等住宅			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町中部434-1			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	普通財産	普通財産	職員宿舎	
所管課	本庁	-	課長名 -	
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治	
設置根拠(法)	-			
条例	-			
設置目的	佐久間医療関係に勤務する職員にとって必要不可欠な施設であるため、今後も適正な維持管理コストを心掛け、より良い運営に取り組む。			
主な利用者	社会福祉法人さくま職員			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	~			
管理者名	-			
開館時間	-			
建物情報	総延床面積	360.36	土地面積 870.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	-		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1966/12/13		
	経過年数(主要建物)	56		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	-	-	-
	国・県	-	-	-
	寄付金	-	-	-
	その他	-	-	-
	市債	-	-	-
一般財源	-	-	-	
特記事項	-			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	533	519	622
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	533	519	622
	支出(千円)	人件費	0	0
	物件費(委託料)	65	75	24
	維持補修費(修繕費)	304	11	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	157	165	165
	支出計(B)	526	251	189
	行政コスト(B-A)	-7	-268	-433
	収支前年比	2.61	61.89	94.13
	(参考)指定管理料	0	0	0
	(参考)減価償却費	1,229	1,229	1,229
利用状況	利用コマ数/年	-	-	-
	利用可能コマ数/年	-	-	-
	施設利用者数/年	-	-	-
	開館日数/年	-	-	-
	施設定員数	-	-	-
	図書貸出冊数/年	-	-	-
	蔵書数	-	-	-
	入居戸数	3	3	3
	全戸数	8	8	8
	クラス数	-	-	-
生徒数	-	-	-	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	31,280	-	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	0.1
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	0.1
02-017	平沢医師住宅	地域	0.2
02-016	中部医師住宅	地域	0.2
02-007	半場教職員住宅	地域	0.7
02-006	川合教職員住宅	地域	1.3
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	0.0
13-087	平沢団地	地域	0.0
14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	0.3
21-006	佐久間・水窪斎場	地域	0.3
22-011	中部歯科診療所	生活	0.3
15-145	佐久間中学校	生活	0.3
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.3
01-027	佐久間協働センター	地域	0.3



基本情報	リストNo	02-012	施設コード	02496	所管課	本庁	-
	施設名	平沢医療職員等住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	-	会計年度任用職員(人)	-	再任用(人)	-
	複合施設	-					
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		佐久間医療関係に勤務する職員にとって必要不可欠な施設であるため、今後も適正な維持管理コストを心掛け、より良い運営に取り組む。					
		主な業務内容	賃貸住宅				
		主な利用者	社会福祉法人さくま職員				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 居住者があり、需要は確保されている。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			社会福祉法人さくまに勤務する職員の利用が見込まれる。		
		特記事項 平成14年改修工事					
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
		事業①	-	2022	-	のべ募集人員	参加者数
-			2021	-	-	-	
-			2020	-	-	-	
事業②		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業③		-	2022	-	-	-	
		-	2021	-	-	-	
		-	2020	-	-	-	
事業④	-	2022	-	-	-		
	-	2021	-	-	-		
	-	2020	-	-	-		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	老朽化に伴い修繕が必要である。					
	対応策	施設改修を計画的に実施し、適正な維持管理に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	-	-	-	-	
		民間移管	-	-	-	-	
		管理主体変更	-	-	-	-	
		代替サービス	-	-	-	-	
統廃合	-	-	-	-			
複合化	-	-	-	-			
広域化	-	-	-	-			
民活導入	-						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-19	-744	-1,202	1人当たりのコスト(円)	-	-	-
	施設利用率(%)	-	-	-	1開館日当たりのコスト(円)	-	-	-
	1日当たり利用者(人)	-	-	-	1定員当たりのコスト(円)	-	-	-
	図書貸出率(%)	-	-	-	1貸出冊当たりのコスト(円)	-	-	-
	入居率(%)	37.5	37.5	37.5	1戸当たりのコスト(円)	-2,333	-89,333	-144,333
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来からの公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。						
	利用用途別分類毎の方向性	教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。						
個別方針	1資産の見直し	代替サービス	-	-	-	-	-	-
	2民活導入	(1)維持管理	-	(2)改修・更新時	-	(3)その他	-	-
地域医療確保の観点から、適切な維持管理に努める。								

基本情報	リストNo	02-013	施設コード	00019	所管課	本庁	健康福祉部健康医療課
	施設名	あたご診療所医師住宅			施設	天竜区・健康づくり課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		あたご診療所の開設者に対して住環境を提供し、中山間地域における医師の定着を図る。					
		主な業務内容	住宅施設				
		主な利用者	あたご診療所開設者				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			設置当初から継続したニーズが維持されている。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			地域医療に必要なため、維持継続を要する。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
		—	2021	—	—	—	
		—	2020	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
事業②	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
事業③	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
事業④	—	2021	—	—	—		
	—	2020	—	—	—		
	—	2022	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建業後20年が経過し(平成15年建設)、今後構造物などに不具合が生じてくると予想される。					
	対応策	住宅の使用にあたり、維持保存等の行為を原則借主側に義務付けているが、大規模な改修がある場合は借主側と協議して適正な保全に努める。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	-512	-520	-545	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	-61,000	-62,000	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。</p>						
個別方針	1資産の見直し	代替サービス	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
地域医療確保の観点から、適切な維持管理に努める。								

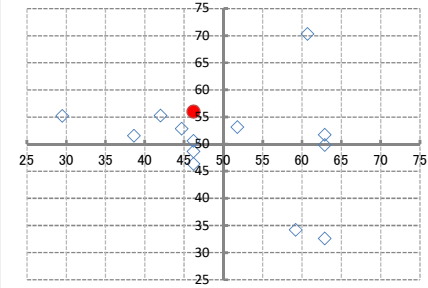
リストNo	02-014	施設コード	00483			
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等					
施設名	気田地区教職員住宅					
所在(町名・番地)	天竜区春野町気田377-2					
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之			
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治			
設置根拠(法)	—					
条例	—					
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	620.16	土地面積	551.85		
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	551.85	
	地上階数(主要建物)	2			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1993/12/1				
	経過年数(主要建物)	29				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—			
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	87	123	231
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	87	123	231
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	155	102	100
	維持補修費(修繕費)	75	1,329	129
	物件費(光熱水費)	5	4	3
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	235	1,435	232	
行政コスト(B-A)		148	1,312	1
収支前年比		11.28	131200.00	0.13
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	7	7	10
	全戸数	14	14	14
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	5,069	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
その他の分類	13-071	気田団地	地域	0.0		
	25-022	旧気多簡易水道	—	0.0		
	16-013	春野学校給食センター	地域	0.2		
	04-041	旧王子製紙製品倉庫	文化財	0.3		
	15-142	春野中学校	生活	0.3		
	13-090	平木団地特定公共賃貸住宅	地域	0.3		
	08-077	気田幼稚園	生活	0.4		
	15-088	気田小学校	生活	0.4		
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	02-014	施設コード	00483	所管課	本庁	学校教育部教育施設課
	施設名	気田地区教職員住宅			施設	天竜区・区振興課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
		主な業務内容	教職員の住居				
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			民間賃貸住宅がないため一定の利用者が確保されている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される			
	特記事項						
	11棟14戸住宅(現在7戸利用)						
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年以上経過した建物が多く、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。特に屋根の老朽化が進んでいるため、早急な対応が必要となっている。					
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は存続の方針とする。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
管理主体変更		—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	239	2,116	2	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	50.0	50.0	71.4	1戸当たりのコスト(円)	21,143	187,429	100
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
参考	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>				 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
個別方針	利用者の圏域毎の方向性	<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。</p>						
個別方針	1資産の見直し	統廃合	代替サービス	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
気田地区教職員住宅は詳細調査を実施した上で整備方針(改修範囲)を決定し、順次改善を図っていく。								

リストNo	02-015	施設コード	00647			
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等					
施設名	犬居地区教職員住宅					
所在(町名・番地)	天竜区春野町堀之内1005-5					
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域				
財産区分	行政財産	公共用財産	その他施設			
所管課	本庁	学校教育部教育施設課	課長名 山本 治之			
	施設	天竜区・区振興課	課長名 内山 浩治			
設置根拠(法)	—					
条例	—					
設置目的	賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。					
主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
運営形態	直営					
指定管理または包括管理委託等の期間	～					
管理者名	—					
開館時間	—					
建物情報	総延床面積	101.02	土地面積	506.00		
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	506.00	
	地上階数(主要建物)	1			うち借地面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				代表地目(現況地目)
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	1985/12/1				
	経過年数(主要建物)	37				
用途地域	都市計画区域外					
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計			
財源	設置事業費	—	—	—		
	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
一般財源	—	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	48	48
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	48	48
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	88	90	68
	維持補修費(修繕費)	0	0	69
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	88	90	137	
行政コスト(B-A)		88	42	89
収支前年比		209.52	47.19	18.98
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	1	1	1
	全戸数	2	2	2
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	3,503	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
その他の分類	18-059	旧南中学校(春野)	地域	0.1		
	13-073	若身団地	地域	0.2		
	15-091	犬居小学校	生活	0.2		
	08-078	犬居幼稚園	生活	0.3		
	14-121	春野第1分団犬居	コミュニティ	0.5		
25-028	旧若身簡易水道	—	0.8			
03-020	春野ふれあい公園集会所	地域	0.8			
14-123	春野第1分団西領家	コミュニティ	1.4			
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	02-015	施設コード	00647	所管課	本庁	学校教育部教育施設課	
	施設名	犬居地区教職員住宅			施設	天竜区・区振興課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	子どもの生活や学びを支える教育環境づくり						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		賃貸住宅等が少ない過疎地域の学校に勤務している教職員の居住地確保を図る。						
		主な業務内容	教職員の住居					
		主な利用者	浜松市立の小中学校及び幼稚園に勤務する教職員					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			中学校の統廃合により利用者が減少傾向にある				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			他に利用できる住宅が少ないため一定の利用者は確保されると予想される				
	特記事項			2棟住宅(現在1戸利用)				
主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
			2019	—	—	—	—	
	事業②	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④	—	2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築30年以上経過しているため、施設の老朽化に伴う維持管理経費の増加が予想される。						
	対応策	令和2年度に浜松市教職員住宅配置適正化計画を策定。当施設は廃止の方針とする。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	871	416	881	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	50.0	50.0	50.0	1戸当たりのコスト(円)	88,000	42,000	89,000	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性	 <p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>		 <p>利用状況等による評価(横軸)</p>		※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
		利用用途別分類毎の方向性	<p>公共施設等総合管理計画より抜粋</p> <p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>		<p>教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。</p>				
個別方針	1資産の見直し		統廃合	代替サービス	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
現在は入居者がいるため運営は続けるが、退去後入居者不在が続いた場合は施設を解体する。									

リストNo	02-016	施設コード	20006	
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等			
施設名	中部医師住宅			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町中部437-9			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	—	
所管課	本庁	健康福祉部佐久間病院	課長名 北野谷 卓治	
	施設	健康福祉部佐久間病院	課長名 北野谷 卓治	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	民間賃貸住宅がないため、佐久間病院に勤務する医師の住居確保を図る。			
主な利用者	佐久間病院医師			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	249.46	土地面積 3,134.16	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工数(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1999/2/26		
	経過年数(主要建物)	24		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2022	2021	2020
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
	支出(千円)	0	0	0
人件費	0	0	0	
物件費(委託料)	0	0	0	
維持補修費(修繕費)	33	1,116	470	
物件費(光熱水費)	0	0	0	
物件費(借地料)	397	397	397	
支出計(B)	430	1,513	867	
行政コスト(B-A)	430	1,513	867	
収支前年比	28.42	174.51	218.39	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	1	1	1
	全戸数	2	2	2
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	0.1
02-012	平沢医療職員等住宅	地域	0.2
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	0.2
02-017	平沢医師住宅	地域	0.4
02-007	半場教職員住宅	地域	0.7
02-006	川合教職員住宅	地域	1.3
14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	0.1
22-011	中部歯科診療所	生活	0.1
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.2
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	0.2
01-027	佐久間協働センター	地域	0.2
13-087	平沢団地	地域	0.2
15-145	佐久間中学校	生活	0.3
21-006	佐久間・水窪斎場	地域	0.4



基本情報	リストNo	02-016	施設コード	20006	所管課	本庁	健康福祉部佐久間病院	
	施設名	中部医師住宅			施設	健康福祉部佐久間病院		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
	複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		民間賃貸住宅がないため、佐久間病院に勤務する医師の住居確保を図る。						
		主な業務内容	佐久間病院医師の住居					
		主な利用者	佐久間病院医師					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか 民間賃貸住宅がないため一定の利用者は確保されている。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測 今後も一定の利用者が確保されると予想される。							
	特記事項 —							
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況		
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
		—	2021	—	—	—	—	—
		—	2020	—	—	—	—	—
事業②		—	2022	—	—	—	—	—
		—	2021	—	—	—	—	—
		—	2020	—	—	—	—	—
事業③		—	2022	—	—	—	—	—
		—	2021	—	—	—	—	—
		—	2020	—	—	—	—	—
事業④	—	2022	—	—	—	—	—	
	—	2021	—	—	—	—	—	
	—	2020	—	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から24年が過ぎているが、建物本体には目立った損傷は見受けられないが、今後、維持管理経費の増加が予想される。						
	対応策	必要な施設改修を計画的に実施する。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
代替サービス		—	—	—	—			
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	—							

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020	
	行政コスト/面積(円)	1,724	6,065	3,476	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	50.0	50.0	50.0	1戸当たりのコスト(円)	430,000	1,513,000	867,000	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
参考	利用者の圏域毎の方向性					※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。			
		利用用途別分類毎の方向性	公共施設等総合管理計画より抜粋		教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。		今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。		
個別方針	1資産の見直し		2民活導入 (1)維持管理		(2)改修・更新時		(3)その他		
	地域医療の維持及び佐久間病院に勤務する医師の住宅確保のため、修繕が必要な場合は計画的かつ適切な維持管理に努める。								

リストNo	02-017	施設コード	20007	
利用用途別分類(施設分類)	職員宿舎等			
施設名	平沢医師住宅			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町中部569-2 他			
利用者の圏域別分類等	地域	中山間地域		
財産区分	行政財産	公共用財産	—	
所管課	本庁	健康福祉部佐久間病院	課長名 北野谷 卓治	
	施設	健康福祉部佐久間病院	課長名 北野谷 卓治	
設置根拠(法)	—			
条例	—			
設置目的	民間賃貸住宅がないため、佐久間病院に勤務する医師の住居確保を図る。			
主な利用者	佐久間病院医師			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	824.29	土地面積 2,696.23	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	2		
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	—		
	建築年月日(主要建物)	1994/4/1		
	経過年数(主要建物)	29		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目	2022	2021	2020	
収入(千円)	使用料・手数料	353	353	353
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	353	353	353
	支出(千円)	人件費	0	0
物件費(委託料)	0	0	0	
維持補修費(修繕費)	0	0	0	
物件費(光熱水費)	0	0	0	
物件費(借地料)	436	397	436	
支出計(B)	436	397	436	
行政コスト(B-A)	83	44	83	
収支前年比	188.64	53.01	46.37	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	3,151	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	4	3	3
	全戸数	4	4	4
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
02-012	平沢医療職員等住宅	地域	0.2
02-011	佐久間医療職員等住宅(リュミエールさくま)	地域	0.2
02-002	水巻寮教職員住宅	地域	0.3
02-016	中部医師住宅	地域	0.4
02-007	半場教職員住宅	地域	0.9
02-006	川合教職員住宅	地域	1.2
14-135	佐久間第1分団平沢	コミュニティ	0.2
13-087	平沢団地	地域	0.2
21-006	佐久間・水窪斎場	地域	0.3
15-145	佐久間中学校	生活	0.4
14-136	佐久間第1分団中部	コミュニティ	0.4
22-011	中部歯科診療所	生活	0.5
01-027	佐久間協働センター	地域	0.5
22-003	浜松市国民健康保険佐久間病院	広域	0.5



基本情報	リストNo	02-017	施設コード	20007	所管課	本庁	健康福祉部佐久間病院
	施設名	平沢医師住宅			施設	健康福祉部佐久間病院	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	地域医療に貢献できる有能な医療スタッフの育成					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		民間賃貸住宅がないため、佐久間病院に勤務する医師の住居確保を図る。					
		主な業務内容	佐久間病院医師の住居				
		主な利用者	佐久間病院医師				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			民間賃貸住宅がないため一定の利用者は確保されている			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も一定の利用者が確保されると予想される			
	特記事項			—			
	主な事業	事業名・開催回数(2022)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2022	—	のべ募集人員	参加者数	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
			2019	—	—	—	
事業②	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2019	—	—	—		
事業③	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2019	—	—	—		
事業④	—	2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
		2020	—	—	—		
		2019	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	建築から29年が過ぎているが、建物本体には目立った損傷は見受けられない。今後、維持管理経費の増加が予想される。					
	対応策	必要な施設改修を計画的に実施する。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	—						

参考指標	項目	2022	2021	2020	項目	2022	2021	2020
	行政コスト/面積(円)	101	53	101	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	100.0	75.0	75.0	1戸当たりのコスト(円)	20,750	14,667	27,667
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
参考	利用者の圏域毎の方向性	<p>建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p>		<p>利用状況等による評価(横軸)</p>		<p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>		
		<p>利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組みます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。</p>		<p>教職員住宅は、再配置や統廃合を進めるなど、大幅な総量縮減を実施してきました。今後は、へき地の学校施設の配置状況のほか、配置される教職員数や児童・生徒数(学級数)の推移状況を勘案し、計画的に施設配置の適正化や施設の健全化を図り、必要数の確保を図ります。また、中山間地域における医師住宅については、医療施設との距離や往診体制、医療関係者確保の状況などを考慮したうえで適正な配置をします。</p>				
個別方針	利用用途別分類毎の方向性	1資産の見直し	—	—	—	—	—	
		2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
		地域医療の維持及び佐久間病院に勤務する医師の住宅確保のため、修繕が必要な場合は計画的かつ適切な維持管理に努める。						